

2022年9月7日
住友生命保険相互会社

大阪府との次世代スマートヘルスに関する共同プロジェクト ～“住友生命「Vitality」”を活用した府民の健康づくりの促進と 次世代スマートヘルスに係るスタートアップ支援で連携～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、大阪府（知事 吉村 洋文、以下「大阪府」）と、デジタル技術を活用した府民の皆さまの健康づくり（次世代スマートヘルス）の促進に、共同で取り組みます。

住友生命は、2018年の健康増進型保険“住友生命「Vitality」”発売以降、「人生100年時代」と言われる長寿社会において、お客さま一人ひとりの健康状態の向上に貢献することで、健康長寿社会の実現を目指してきました。その実現に向けて、2021年4月から、保険契約と切り離して Vitality 健康プログラムの一部を提供する取組みを開始していますが、本プロジェクトでも活用し、府民の健康づくりに貢献していきます。

また、次世代スマートヘルスに係るスタートアップ支援のための資金的支援環境づくりに協力し、この分野での大阪府との連携も進めていきます。

住友生命は、大阪府との本プロジェクトを通じて、2025年の大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の創造に向けた取組みを進めていきます。

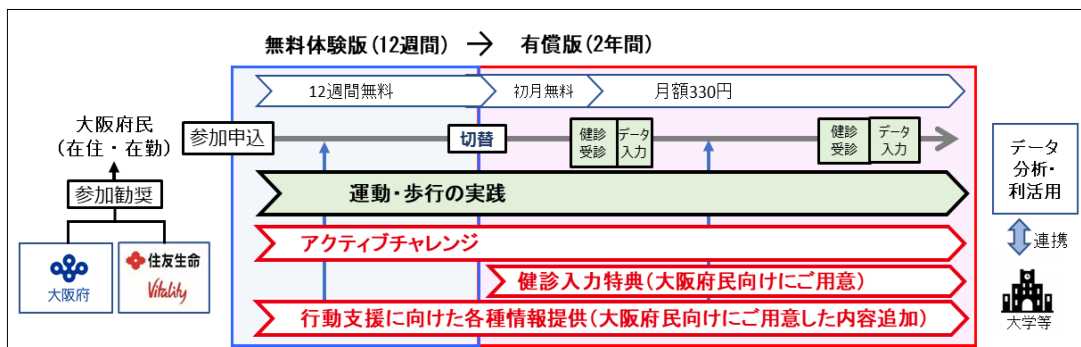
1. “住友生命「Vitality」”を活用した府民の健康づくりの促進

府民の皆さまに広く健康づくりに向けた行動変容を呼びかけ、12週間無料で Vitality 健康プログラムの一部を、本年10月から提供開始します（申し込みは、スマートフォンを通じて専用サイトから手続きいただけます）。また、12週間の体験終了後も Vitality 健康プログラムを継続いただけるよう、月額330円の2年間のプラン※を府民の皆さま限定で提供いたします。

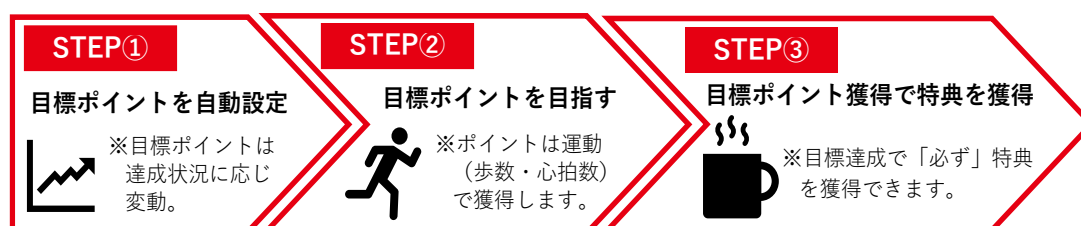
このプログラムの参加者には、健康診断の受診と健康関連データの提供を呼びかけ、そのための特典（ドリンクチケット等）を用意します。加えて、参加者の同意のもと、蓄積されたデータを用いて行動変容と健康状態に関する分析を行うとともに、大学等の研究機関と連携し、府民のQoL向上に資するデータの活用を検討していきます。

※当プランは、生命保険に付保する月額880円のプランとは一部内容が異なります。

「住友生命「Vitality」」を活用した府民の健康づくりの促進」の概要



「アクティブチャレンジ」の概要



アクティブチャレンジとは、1週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンク等の各種商品チケットを獲得できる週次のプログラムです。参加者が短期的な目標の達成を繰り返す中で、運動習慣を身につけ、健康増進につなげていくものです（毎週月曜日の0時から日曜日の23時59分を1週間とします）。

2. 次世代スマートヘルスに係るスタートアップ支援

大阪府との共同プロジェクトとして、健康づくり支援・予防アプリ等の次世代スマートヘルスに係るスタートアップ支援のための資金的支援環境づくりに協力します。なお、当該ファンドは年内を目途に設置を目指す予定です。

以上